

# 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

新生児卵巣嚢腫の検討	
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b>	2000年1月1日から2023年12月31日に昭和大学病院小児外科で卵巣嚢腫と診断された患者さん
<b>2. 研究目的・方法</b>	卵巣嚢腫は胎児または新生児の女児にみられる腹腔内嚢胞性病変として最多であり、超音波所見により単純性と複雑性に分けられます。出生後は半数以上の嚢胞が消失するとされています。最も注意すべき合併症は茎捻転であり、その予防につとめ、また茎捻転が疑われた際には適切な外科的治療介入が必要になります。 その発症様式や治療介入方法などの情報を収集して、胎児期に診断された卵巣嚢腫に対する適切な診療方針を検討することを目的とします。
<b>3. 研究期間</b>	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年7月31日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b>	診療録をもとにした、発見時胎児週数、治療介入の有無、手術様式、手術年月日、経過観察期間。
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b>	該当いたしません
<b>6. 研究組織</b>	研究機関 昭和大学病院 小児外科 研究責任者 昭和大学病院 小児外科 富永美璃

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院外科学講座小児外科部門      氏名：富永美璃  
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8                      電話番号： 03-3784-8789